

21・老福連 第7回職員研究交流集会 in 宇奈月(富山)分科会一覧表

<12分科会23会場>

分科会	分科会名	趣旨・課題	分散会名	座長	助言者
1	施設でその人らしい暮らしを支える	<p>今後施設の在り方そのものが変えられ、ますます重度の方が増加していくことが予測されます。くらしの場として入居者自身がお互いの関わりや暮らしをどうつづけているかの実践等を持ち寄り重度化していく中での特養のくらしのありかたを検討しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化、医療処置の増加、厳しい人員体制の中で工夫しながらその人らしい暮らしをささえる実践</li> <li>・重度の方のその人らしさを大切にしたい実践報告</li> <li>・体制的に創意工夫しながらすすめているユニット、グループケアの実践</li> <li>・ユニット・グループケアで入居者や職員はどう変ったか</li> <li>・特養における認知症高齢者に対する支援</li> <li>・身体拘束廃止のとりくみ</li> <li>・介護の中で職員がうける被害</li> </ul>	1-I ユニット型を中心に	福岡 いきいき八田 施設長 山本 明美	兵庫 けま喜楽苑 特養リーダー 黒川 晶子
			1-II① 従来型を中心に	奈良 こがねの里 総主任 栄 孝	大阪 いのこの里 法人事務局 正森 克也
			1-II② 従来型を中心に	兵庫 喜楽苑 特養部長 若宮 達也	東京 マイホーム新川 施設長 繁田 正人
			1-III 行動障害がある認知症の方のケアを中心に	北海道 フルーツ・シャトーよいち 副施設長 本荘 頼賢	愛知蒲郡眺海園 施設長 早川 昌宏
			1-IV 認知症を含む身体的重度の方のケアを中心に	山形 とかみ共生苑 施設長 高橋 春樹	群馬 誠の園 施設長 山口 千春
			1-V ターミナルケアを中心に	兵庫 にしのみや苑 看護主任 田中 良子	京都 原谷こぶしの里 部長 幸 暁子
2	施設の暮らしの中で食を支える	<p>重度化に伴う食形態やユニットケア体制における現場調理等、また栄養ケアマネジメントや療養食加算の算定がはじまり施設における食の形態やあり方も複雑さをましています。昨年に引き続き、利用者の立場にたった食事のあり方の実践を持ち寄りながら次の課題についても論議しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養ケアマネジメントの開始によって利用者の健康管理にはたしている役割や成果、ケアプランにおける他職種との連携</li> <li>・介護報酬の改定が食の提供に及ぼしている影響や経営的側面(直営・委託とも)からの影響</li> <li>・ひとりひとりにあわせた食の提供の工夫</li> </ul>	2	京都 社会福祉法人七野会 栄養部部長 森島 静子	新潟 むつみ荘 管理栄養士 山崎 正則
3	施設の暮らしの中で医療・健康管理を考える	<p>特養においても感染症の対応がより求められる状況になっています。又現在も重度化が進行していますが、今後特養の役割も重度者の受け入れにシフトしていく方向が考えられています。このような中で改めて原点をみつめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特養における健康管理のあり方、生活を支える看護の役割やあり方と介護職との連携や課題</li> <li>・重度化、少ない看護配置の中で特養の医療のあり方と医療機関との連携</li> <li>・感染症に対するとりくみ</li> </ul> <p>等を検討しましょう。</p>	3-I	群馬 榛名憩の園 園長 大美賀 亨	東京 葛飾やすらぎの郷 施設長 中山 美千代
4	在宅生活を支えるデイ・ショート事業	<p>住みなれた地域で住み続けることの要求が強まっています。また介護予防が制度化され介護予防に対する関心も高まっています。一方国は政策的にも施設から在宅へと転換してきており、療養型の削減で今後重度の在宅者が増加することが懸念されます。制度改定から1年が経過し新しい制度に対するとりくみと共に在宅生活を支えるデイやショートのあり方を論議しましょう。</p> <p>(共通して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネと事業者との関わり、及び事業者間の連携</li> <li>・デイやショートを利用することで利用者や家族はどのようにささえられているか、変化したか</li> <li>・特色あるデイやショートのとりくみ</li> <li>・デイ、ショートを一体的に取組んでいる所の実践事例</li> </ul> <p>(ショート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な利用目的に対応して本人、家族のニーズにどう応えているか</li> <li>・ショートにおける個別援助とは</li> <li>・事故防止の取り組み</li> <li>・業務の工夫改善 等</li> </ul> <p>(デイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防のとりくみや効果</li> <li>・個別機能訓練、口腔ケア、栄養マネジメントのとりくみ</li> <li>・家族との連携、家族に対する相談、援助</li> <li>・デイにおける各職種の役割の取り方と連携</li> </ul>	4-I ショートのとりくみを中心に①	新潟 あしぬま荘 施設長 川瀬 裕	島根 長命園 施設長 須山 俊二
			4-III デイのとりくみを中心に①	岡山 健生園 特養相談員部長 日笠 悦子	大阪 結いの里 施設長代行 小島 すゞ代
			4-IV デイのとりくみを中心に②	静岡 通所介護ウィル 所長 草島 誠人	富山 とやま虹の会 理事 山崎 乙吉

分科会	分科会名	趣旨・課題	分散会名	座長	助言者
5	地域で暮らし続ける	<p>ホームヘルプサービスも制度改定の大きな影響をうけました。1年が経過して改めて利用者、家族に対する影響を直視し、それをどうのりこえてきたか、また地域のヘルパーがどう連携しながら実践の交流や社会的地位の向上、地域づくりにむかっているか、経験をもちより討議しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度改定の影響ととりくみ</li> <li>・質の向上のとりくみ</li> <li>・サービス提供責任者の役割</li> <li>・ネットワークや地域づくりのとりくみ</li> </ul> <p>(グループホーム)</p> <p>2006年度よりグループホームと小規模多機能型施設は地域密着型サービスと位置づけられました。グループホームは全国的に数が急増する中でその質もとわれてきています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームでどこまでケアするのか</li> <li>・グループホームと地域とのかかわり</li> <li>・グループホームならではの援助実践等</li> </ul> <p>等を話しあいましょう</p> <p>(小規模多機能)</p> <p>小規模多機能型サービスは地域で暮らし続けるためのサービスとして制度化されとりくみが始まっています。</p> <p>制度としては始まったばかりであり施設をつくった経過やとりくみ、課題等を報告、検討しあいましょう。</p>	5-I ホームヘルプサービス	静岡 芳川の里 管理責任者 宮形 淳	京都 原谷こぶしの里 ホームヘルパーステーション 施設長 木本 ちさと
			5-II グループホームケア	山形 とかみ楽生苑 管理者 高梨 友也	島根 ひまわり園 施設長 常陸 実
			5-III 小規模多機能型サービス	京都 社会福祉法人七野会 事業担当常務 橋本 信夫	滋賀 ぎおうの里 施設長 市原 邦雄
6	養護老人ホームの制度転換への対応と役割を考える	<p>前回は新制度移行後まもなくの時点で具体的な影響や諸課題は鮮明になりきらなかった面があります。</p> <p>今年度は前回発表した施設も含めて全施設の発表を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度移行後の影響、課題、実践</li> <li>・自治体への問題提起等の実践</li> <li>・高齢者福祉を守り、拡充する視点から養護老人ホームのあり方や実践事例</li> </ul>	6	大阪 槻ノ木荘 施設長 中村 公三	東京 信愛寮 施設長 関 道子
7	ケアハウスのあり方を考える	<p>今、国は地域で住み続ける上で多様な住まいの構築をうたっており、ケア付き住宅、有料老人ホーム、有料賃貸住宅等様々な形態の住宅が民間の手でどんどんつくられてきています。このような動向の中で老人福祉法上に位置づけられるケアハウスの存在意義は何か、安心の住み家として今後のケアハウスをどう考えて行けばよいのか、実践をもちよりましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定施設問題</li> <li>・重度化への対応、ケアハウスの機能</li> <li>・医療・福祉・地域との連携の実践</li> <li>・ケアハウスの相談機能、利用者の状況からみえるケアハウスの役割</li> </ul>	7	宮城 宮城野の里 施設長 小野 ともみ	愛知 ケアハウスちあき 施設長 寺田 路子
8	地域包括支援・在宅介護支援センター、居宅介護支援事業が地域づくりに果たす役割	<p>地域包括支援センターが昨年混乱の中でスタートしました。介護予防プランにおわれ本来業務ができない等の声もきかれます。介護予防も進んでいません。在介もなくなった所、存続している所様々です。居宅においても制度改定の影響等利用者の立場にたつた居宅支援に苦慮している所です。その中でも1年が経過し、地域づくりやネットワークづくり困難事例への対応や公的責任の問題等経験をもちよりましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括の実践の経験交流</li> <li>・介護予防、ネットワークづくり、権利擁護、困難事例の対応、行政との関係等</li> <li>・居宅での実践の経験交流</li> <li>・介護保険改定の影響やそれに対するとりくみ</li> <li>・居宅からみた地域包括との連携の課題</li> <li>・居宅からみた地域の課題等</li> </ul>	8-I 地域包括のとりくみを中心に	新潟 穂波の里 主任介護支援専門員 井上 悦子	福祉・介護オンブズネットおおさか 事務局長 日下部 雅喜
			8-II 居宅支援のとりくみを中心に	新潟 あしぬま荘 介護支援専門部長 長井 宏樹	東京 泉苑ケアセンター センター長 武田 恵
9	安全・安心と生活リスクの共有-事故防止のとりくみを中心に-	<p>生活施設の中でリスクとの共有は避けられません利用者・家族との信頼関係の構築、安心・安全をベースにした生活を築いていく上で事故防止のとりくみはかせませません。</p> <p>今年は特に介護事故にしばって、論議を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生した事故事例から学んだこと</li> <li>・ヒヤリ・ハットのとりくみ</li> <li>・転倒防止の工夫</li> <li>・施設の事故防止のとりくみや体制</li> </ul>	9	広島 くすの木苑 施設部長 望月 みはる	東京 みやま大樹の苑 施設長 相羽 孝昭

分科会	分科会名	趣旨・課題	分散会名	座長	助言者
10	施設で事務職員が果たす役割を考える	<p>事業の多様化、制度改定、経営のきびしさ等の中で、施設運営の実務の要としてその役割は重要さをましています。又地域との関係で組織能力も問われてきています。昨年に引き続き情報交換しながら事務の役割を議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務部門の果たす役割</li> <li>・事務業務に係わる具体的テーマの実践事例</li> <li>・事務業務の効率化</li> <li>・事務部門から見た介護保険制度の問題</li> </ul>	10	<p>兵庫 社会福祉法人きらくえん</p> <p>法人事務局長 細岡 雄二</p>	<p>新潟 柏崎刈羽福祉事業協会</p> <p>理事 田畑 洋</p>
11	育ちあい・育てあう職場づくり	<p>前回まで福祉労働の働きがいと次世代育成、民主的職場運営を考えるテーマの分科会でしたが、今年は若い職員と中間管理職の立場の人の2つの分散会に分け学びあい、育ち合う職場づくりについて議論しましょう。</p> <p>(若い職員の立場から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の率直な声のレポート</li> <li>・どのような福祉に働く職員になりたいか</li> <li>・研修や職場運営にのぞむもの</li> <li>・学びあい育ち合える職場運営の経験 等</li> </ul> <p>(中間管理職職員の立場から)</p> <p>きびしい情勢に立ち向かい、働きがいある職場づくりの基礎は民主的運営です。中間管理職の立場の方の悩みも率直に出し合いながら議論できるよう積極的な参加を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップのとり方</li> <li>・職場会議の持ち方や職場運営</li> <li>・職場の中での中間管理職が果たす役割</li> <li>・各施設の研修制度、人材育成の取組みの実践 等</li> </ul>	<p>11-I 若い職員を中心に</p>	<p>大阪 いのこの里</p> <p>施設長 山本 智光</p>	<p>北海道 かりぷ・あつべつ</p> <p>施設長 石井 秀夫</p>
		<p>きびしい情勢に立ち向かい、働きがいある職場づくりの基礎は民主的運営です。中間管理職の立場の方の悩みも率直に出し合いながら議論できるよう積極的な参加を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップのとり方</li> <li>・職場会議の持ち方や職場運営</li> <li>・職場の中での中間管理職が果たす役割</li> <li>・各施設の研修制度、人材育成の取組みの実践 等</li> </ul>	<p>11-II 中間管理職を中心に</p>	<p>長野 ゆい</p> <p>施設長 林 積子</p>	<p>神奈川 緑陽苑</p> <p>施設長 岸田 孝史</p>
12	施設と地域、利用者、家族、後援会組織等との関係を考える	<p>昨年に引き続き後援会の立場の方、新たに家族会の方等施設職員以外にも開かれたオープンな分科会とし、地域にささえられた施設運営、職員との関わりを引き続き議論しましょう。そして福祉施設が地域福祉の拠点として地域づくりをとに進めていくため議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざした施設運営</li> <li>・後援会活動の交流、後援会活動と職員の関わり</li> <li>・家族会活動の交流、家族会活動と職員の関わり</li> <li>・ボランティア活動について</li> <li>・苦情や意見からみた利用者、家族、地域の声と施設運営への反映</li> <li>・利用者アンケートのとりくみ</li> <li>・地域の要望に応えた法人の自主的事業のとりくみ等・福祉のまちづくりの活動</li> </ul>	12	<p>石川 やすらぎホーム</p> <p>主任相談員 山口 修治</p>	<p>東京 白十字ホーム</p> <p>施設長 西岡 修</p>

※座長・助言者は、変更になる場合がありますので、ご了承ください。